

08

ラオス/ルアンパバーン

総面積：16,875km²(郡) / 人口：97,760人 /
人口密度：—



都市の現状

ルアンパバーンは、首都ビエンチャンから北、メコン川を約400キロメートル上流にさかのぼったカ川との合流場所に位置する古都であり、市街地自体が文化遺産として1995年、ユネスコの世界遺産に登録された。ラオス北部にあるルアンパバーン県を中心地である。

スマートシティ行動計画

ビジョン：世界遺産を中核とした国際的観光の中心として、住みやすく訪問しやすい、持続可能な都市を維持する。地域の連絡拠点としてのみならず、北部の県全域の地域拠点を成し、サービス部門を生活の質を向上する経済的柱とする。2035年までにルアンパバーンスマートシティ開発を目指す。

重点分野：市民・社会、安全とセキュリティ、質の高い環境、整備されたインフラ、産業とイノベーション

Project 1：都市の緑空間と生息地向け遺産湿地の復興

- 183の古くからの湿地と小さな池を元の状態に復元する。
- 緑地空間の改善、エコツーリズムと生態的多様性の向上、湿地周辺に住む人々のための新しい観光事業、洪水防止のための排水処理や雨水貯留、都市の遺産価値の回復、等を通じて市民の生活を向上する。

Project 2：コンクリート舗装と歩道の建設

- 歩行者の移動を促進し、公害をもたらす車両への依存度を減らすために、5年以内に44の路地・歩道のアップグレードを完了する。
- 世界遺産に登録された観光産業は、街の経済成長の基盤となっていることから、訪問者の体験を向上させるために、プロジェクトの一環として、既存歩道や設備を改善する。

取組み状況

Project 1

約2割の湿地がパイロットプロジェクトとして復元され、別の2割の湿地は既に調査・設計済みであり、地域センター、フランス政府及びルアンパバーン県の共同開発を提案中である。残りの6割は現在データ収集をしており、資金援助先を探している。



Project 2

2本の道路(全長236メートル、幅5.5メートル)を未舗装からコンクリート舗装にアップグレードした。また3本の道路(全長2,400メートル)が2019年から2020年にかけて建設予定である。大通り沿いの歩道(全長約1,924メートル、幅1.5メートル)はレンガ舗装で建設された。



スマートシティ最高責任者

Mr. Chansouk PHANDOLACK / 市長 / Email : lrclpg@gmail.com / yenghervacha@hotmail.com